

2020 年 6 月 15 日

関係機関の長 殿

公立大学法人奈良県立医科大学

理事長 細井 裕司 (公印省略)

医学部医学科教授（リハビリテーション医学講座）候補者推薦のお願い

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学医学部医学科ではリハビリテーション医学講座を新設することに伴い、教授候補者を公募しておりましたが、より多くの候補者から選考するため、公募期間を延長することとしました。

つきましては、貴学または関係機関等に適任者がおられましたら、下記によりご推薦くださるようお願い申し上げます。

なお、選考にあたっては別紙「リハビリテーション医学講座教授選考にあたっての基本方針」を策定していますので、ご確認いただくようお願い申し上げます。

謹白

記

1 応募書類

1	推薦書（様式指定なし）	1 部
2	履歴書（様式 1）	1 部
3	業績一覧表（様式 2－1～7）	1 部
4	業績目録（様式 3－1～8）	1 部
5	科学研究費等研究助成取得一覧（様式 4－1～2）	1 部
6	特許等取得一覧（様式 5）	1 部
7	著書、学術論文、印刷物等の別刷（主要 5 編）	各 10 部（コピー可）
8	上記 7 により提出する学術論文等の要約（様式 6）	1 部
9	業績集計表（様式 7）	1 部
10	誓約書（様式 8）	1 部

2 提出期限

2020 年 8 月 31 日（月）17 時まで【必着】

3 提出先

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840

公立大学法人奈良県立医科大学 人事課 長谷川

TEL 0744-22-3051（内線 2394） E-mail jinji@naramed-u.ac.jp

※郵送によりご提出いただく場合、必ず書留としていただき、封書には「リハビリテーション医学講座教授選考応募書類在中」と朱書き願います。

4 応募書類について

選考目的に限って必要に応じて学内で公開することがありますのでご了承ください。

選考の過程で、追加で資料等のご提出、ご講演、ご面談等をお願いする場合があります。

ご提出いただいた書類は選考終了後も返却しません。選考終了後は CD-R や USB メモリ等の情報記憶媒体を含めて個人情報 は 本学の規定に従って適切に処理します。

応募書類の様式は次の WEB サイトからダウンロードできます。

- ・ 奈良県立医科大学 (<http://www.naramed-u.ac.jp/>)
- ・ JREC-IN (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>)
- ・ UMIN (<https://www.umin.ac.jp/>)

5 その他

本学の教員の任期は 5 年（再任可）、定年は 65 歳です。

ご応募いただくにあたり、別紙「リハビリテーション医学講座教授選考にあたっての基本方針」のほか、本学の「将来像」及び「中期計画・中期目標」についてもご確認ください。

（奈良県立医科大学の将来像）

<http://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/shoraizo.html>

（中期目標・中期計画）

<http://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/kekaku-hyoka/gyomujoho2/gyoumujoho2.html>

リハビリテーション医学講座教授選考にあたっての基本方針（抜粋）

リハビリテーション医学講座教授選考にあたっての基本方針

リハビリテーション医学講座の教授選考にあたって、リハビリテーション医学を専門とし、品格と見識に優れ、社会規範を遵守し、奈良県立医科大学を愛し、本学の発展に寄与できる人物を求めます。

教授選考においては、とくに以下の項目について考慮しながら選考を行います。

- 1) リハビリテーション医学領域における教育、研究、診療において優れた指導力を発揮し、学会においても存在感のある講座にできること
- 2) 学生や若手医師の教育に熱心なこと
- 3) 本学附属病院の医療体制におけるリハビリテーション医学及びリハビリテーション分野において責任を担えること

令和元年 10 月 24 日

リハビリテーション医学講座教授選考にあたっての基本方針

リハビリテーション医学講座 基本方針検討委員会

委員長	古家	仁
委員	車谷	典男
	吉栖	正典
	長谷川	正俊

本学では、医学部医学科臨床医学講座として、新たに「リハビリテーション医学講座」を 2020 年 4 月 1 日付けで設置することとなりました。

リハビリテーション医学講座の教授選考にあたって、リハビリテーション医学を専門とし、品格と見識に優れ、社会規範を遵守し、奈良県立医科大学を愛し、本学の発展に寄与できる人物を求めます。

教授選考においては、とくに以下の項目について考慮しながら選考を行います。

- 1) リハビリテーション医学領域における教育、研究、診療において優れた指導力を発揮し、学会においても存在感のある講座にできること
- 2) 学生や若手医師の教育に熱心なこと
- 3) 本学附属病院の医療体制におけるリハビリテーション医学及びリハビリテーション分野において責任を担えること

以上